

エコプレス

皆さん、こんにちは。関西大学経済学部・良永ゼミです。

梅雨が明け、本格的に暑い日が続きますが、お変わりございませんでしょうか。

今回、私達は滋賀県 JA 琵琶湖へ「有機栽培」について調査に行って参りました！

「有機栽培」による農作物は安心・安全に食べられるだけでなく、どう環境に優しいのでしょうか？

また、夏の風物詩である「ホタル」の観測・調査報告など、楽しい記事が満載です♪

おすすめの環境に関する本も紹介しているので、

少しでも皆さんの低炭素なライフスタイルに貢献できれば幸いです。

CONTENTS

- | | | | |
|-----------------------|----|---------------|----|
| ◆ 表紙 | …1 | ◆ 私たちの研究テーマ | …5 |
| ◆ 環境と人に優しい農作物作り | …2 | ◆ 電力自由化と地球温暖化 | …6 |
| ◆ Q & A～農家の人に質問しました！～ | …3 | ◆ 夏の風物詩ヒメボタル | …7 |
| ◆ 本紹介 | …4 | ◆ イベント紹介 | …8 |

暮らしのCO₂
ダイエツト
ニュースレター

環境と人にやさしい農産物づくり

今回、私達は関西大学の学食にも使用されている『環境こだわり農産物』について滋賀県JAびわこさんのところへ調査に行ってきました！

環境こだわり農産物とは？

滋賀県が認証する琵琶湖をはじめとする滋賀の自然環境に配慮し、農薬・化学肥料の使用量を通常のものより半分以下で栽培し、きちんと栽培過程の記録が管理された農産物のことを言います。



認証マーク



田植え体験の様子♪

作物の栽培において農薬・科学肥料を抑えることは、人間の健康に良いだけでなく、生物多様性、及び森林の生態系を保全することにも繋がります。CO₂を吸収する森林の機能を維持することは、地球温暖化を抑制することになります。

環境こだわり農産物の認証を受けた 滋賀のブランド米『みずかがみ』

みずかがみとは、温暖化対応品種として暑さにも強いお米をというニーズに答え、高温に強く猛暑の年でも品質が安定する、現代の地球環境を踏まえ改良されたお米です。農薬・化学肥料の使用量の削減の取り組みについては防蛾灯

(ぼうがとう)を使用して防虫剤の使用を避け、稲の間に伸びた雑草は、草刈り機を使うことで除草剤の使用を避けたりなどして、直接稲に薬をかけない手法で健康に気を使っている人にも安心して食べてもらおうという努力がされています。また、出荷の際にもなるべく地産地消を呼びかけ出荷時にかかるCO₂の削減に取り組み、環境にも人にも優しいお米の生産を行っています。



Q&A



～農家の方に質問しました！～



Q1. 環境こだわり農産物の、農薬・化学肥料を通常の約半分とは、具体的にはどのように減らしているのですか？

A. お米作りを例にすると、通常は苗の消毒、田植え時の除草剤、さらに成長につれ二回の除草剤と殺虫剤をまいており平均的に6回農薬を投与しているところを、環境こだわり米は苗の消毒、田植え時の除草剤、その後もういちどだけ除草剤をまく、といったように農薬の投与が普通の農産物の半分の回数（3回程度）となっています！！



Q2. 環境こだわり農産物と一般の農作物では、どちらのほうがよく売れているのですか？

A. 環境こだわり農産物より安い一般の農作物のほうが売れています。やっぱり、消費がよくないと作ることが難しくなるので少しでも多くの人に食べていただきたいです！！



～感想～

質疑応答後、実際に環境こだわり米のおにぎりを食べさせて頂いたのですが、冷めていたのにとてもおいしかったです！！また、同席していた農家の方のご厚意で無農薬トマトも食べさせて頂いたのですが、こちらもすごくおいしかったです。農薬をあまり使わないことは水を汚さないことに繋がります。そうすることで、私達はきれいな水を飲むことができ、おいしい農産物が取れ、さらに川に住む生物も守ることができます。環境こだわり農産物は私たちの体にやさしいだけでなく、環境や生物にもやさしいものなのです。

JAの方、農家の方、生協の方、貴重な体験をありがとうございました！



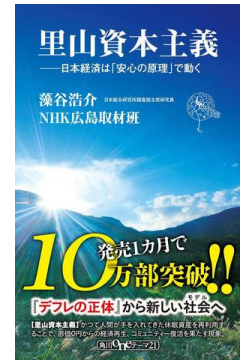
↑無農薬トマト

本紹介

里山資本主義

あらすじ：お金の循環がすべてを決めるという現代社会の象徴「マネー資本主義」その裏で木質バイオマス等を通して「里山資本主義」というお金に頼らず幸せを求める考え方が、主に中国地方でひそかに導入されています。その実状をNHK取材班が現地調査し、地元の暮らしに密着。そこで人々はどのように日々生計を立て、どのように循環型社会を築いているのでしょうか？また、そのような生活は幸せなのでしょうか？それらを知ることで、日本が抱える様々な課題の解決策も見えてくる、といった1冊です。

感想：グローバルなお金の流れに逆らう地域の仕組みをこれからたくさん作っていくことがどんなに大切かを学ばせてもらいました。



生ごみは可燃ごみか

あらすじ：普段、私達が可燃ごみとして捨てている生ごみ…実は、その約9割が水分でできています。つまり、生ごみは非常に燃えにくく大量の焼却エネルギーを必要とするため、二酸化炭素と排熱を大気中に発散することで地球温暖化を加速させています。しかし、この日本の常識である「生ごみは可燃ごみ」は世界の非常識であることをご存知でしょうか？世界の環境先進国では、「生ごみは資源」なのです。現在、世界の焼却工場の約3分の2を稼働させている焼却主義国日本にとって、「生ごみの資源化」は今すぐに取り組むべき課題なのではないでしょうか。

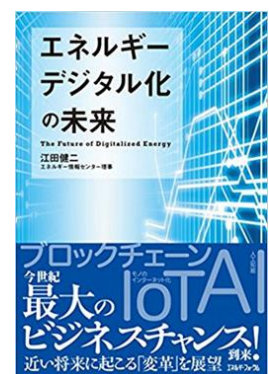
感想：ほとほとの生ごみを燃やすことが当たり前のこととして習慣化されていたように、他にも私達が気にも留めずに行っていることが知らず知らずのうちに環境を破壊していることがあると思います。それらに気付き、行動を起こすことが大切だと思いました。



エネルギーデジタル化の未来

あらすじ：エネルギーをデータとして見える化することによって生じる地球環境への影響、そして新たなビジネスチャンスについて書かれた本です。今は想像することができないような話でも、近い将来実際に起こりうるエネルギーがデジタル化された生活がこの本に詰まっています。

感想：IoT:Internet of Things によって身の回りのモノがネットワークに繋がる時代における環境問題とは何なのか？深く考えることのできる本でした。



私たちの研究テーマ

私たちは、「生物班・エネルギー班・ごみ班」に分かれ、それぞれに特化した研究を進めています。ここでは、各班の研究テーマをご紹介します。

生物班



私たち生物班は、今農村などで問題になっている里地里山問題、日本の林業、生物多様性について日々学習しています。色々学習していくうえで、普段私たちが利用している水や食料はこれらから受けていることを認識し、里山・林業・生物多様性の大切さを改めて実感しました。また、地域の実情を知るために、実際に調査に行くこともあります。今年の3月には能勢町の方に訪問し、植樹体験を行いました。少しでもありますが、地域活性化に貢献できました。

私たちは、ごみ削減の観点から地球温暖化を抑制するためにはどうすれば良いかを研究しています。例えば、吹田市では可燃ごみに分別されているプラスチックごみ…これは、焼却時に有害物質を発生させるため、貴重な資源として再利用されるべきです。そうすれば、焼却エネルギーが減少し、地球温暖化の抑制に繋がります。このように、私達が生活を送る上で必ず発生する「ごみ」の出しかた一つで世界を変えることができると私達は考えています。これからも、経済活動と環境保全を両立できる新たな施策の立案に向けて不屈邁進して参ります。



ごみ班



私たちエネルギー班は、日々の生活に欠かすことのできないエネルギーを取り巻く問題について学習しています。化石燃料の使用による温室効果ガス排出問題、原子力発電による放射性廃棄物問題など幅広い視点からエネルギー問題を学んでいます。そして最終的には、低炭素で環境に負荷を与えないようにするためにはどうすれば良いのか?という問いに対する答えを出すことが目標です。

エネルギー班



電力自由化と地球温暖化

2016年4月より、一般家庭でも電力を買う会社を選択できるようになりました。

一見、電力会社を乗り換えても使っているのは同じ電力なのだから、地球温暖化に対する影響は同じだと感じてしまいますが、実は電力会社の選び方によって地球温暖化対策に貢献できるのです。

① 再生可能エネルギーを売電する電力会社を選ぶ

電力会社によって、販売している電力の発電方法は異なります。その中で再生可能エネルギーを使った電力供給量が多い会社を選ぶことによって、今まで通りの生活をしていても、地球温暖化対策に貢献できます。



② エネルギーを地産地消できる電力会社を選ぶ

電力を実際に使用する家庭の、なるべく近くで作られた電力を販売する会社を選ぶことで、エネルギーを地産地消することができます。エネルギーを地産地消することで電力の送電ロスを減らすことができるので、地球温暖化対策に貢献できます。

しかし、関西地区での新電力会社への移行率は2017年1月現在で約7.4%に留まっています。その理由として「災害などで電力供給が止まった際、既存の大きな電力会社の方が復旧が早いのでは？」と考えている人が多くいると思います。しかし、新規参入の電力会社は既存の電力会社とバックアップ契約を結んでいるので電力の復旧スピードに差が出ることはありません。仮に新規参入の電力会社が倒産したとしても、電力供給が止まることはないのです。

夏の風物詩ヒメボタル



私たちは今回、吹田市ヒメボタルの会のみなさんに同行させてもらい、ホタルの調査と観察に行ってきました！

ヒメボタルとは？



- ◆陸生のホタルで幼虫時代からカタツムリなどを食べる。
- ◆光は、ストロボ光のように1秒間に2回ほど放つ。
- ◆メスは飛ばず地面におり、オスの発光に受け答える。
- ◆5～6月の夜8時頃～10時頃によく光る。
- ◆大阪府の準絶滅危惧種、吹田市の天然記念物である。

調査地は西山田小学校の南側「千里緑地」で行いました！

調査方法

- カウンターを使ってエリアごとにホタルの発光数を計測する。
- ホタル以外の生物も観測する。



調査結果

千里緑地を約2時間かけて一周し計測した結果、エリア7カ所でのホタル発光数は412となりました。また、ドクダミやコバンソウ、ウシガエルなども観察することができました。

～感想～

住宅地の多い場所であるのにも関わらず、ホタルを含め、たくさんの生き物たちが生息していることを肌で実感することができました！吹田市ヒメボタルの会のみなさんの活動で林を適度に伐採することで、ホタルの住みやすい環境が保たれていることを学びました。また、人間と生物が共存して暮らす環境を作り上げるすばらしさを再認識できました。そこで、私たち一人ひとりにできることは、何かないのだろうかと感じ、これからの研究により力が入る機会となりました！



イベント案内

○自然観察会（大木調査）参加者募集！

吹田市に残された自然である大木をテーマに自然観察会を実施します。大木の測定を行うことで、都市における樹木の恩恵を感じ、身近な樹木の保全に関心を持ってもらう活動です。ご興味のある方は気軽にお問合せください！◆日時/9月10日（日）、9月24日（日）午前9時半～11時半 ◆場所/千里南公園 ◆定員/各先着20名 ◆申込み/各日、8月7日（月）～8月31日（木） ◆費用/無料 ◆申し込み及び問い合わせ/電話かFAXでアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

○「みどりのカーテン」写真コンクール作品募集！

今年の夏に、家庭や事業者などで育てたみどりのカーテンの写真を募集します。優秀者には図書カードを贈呈します。

◆サイズ/2Lサイズのカラー写真1枚 ◆提出締切/9月29日（金）必着 ◆提出方法/郵送かメールで、アジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。 ◆その他/選ばれた作品は、アジェンダ21すいた公式HPやニュースレターにて掲載予定。また、応募作品は本コンクールの広報活動として、市報、ホームページなどで使用することがあります。 ◆申し込み及び問い合わせ/電話かFAXでアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。暮らしのCO2ダイエットをはじめ、様々な取組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで
【アジェンダ21すいた事務局】
〒564-8550
吹田市泉町1-3-40
吹田市役所環境部環境政策室内
TEL 06-6384-1782 FAX 06-6368-9900

エコプレス7月号

発行：アジェンダ21すいたエネルギー部会

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40 吹田市役所環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782

FAX：06-6368-9900

編集：関西大学経済学部良永ゼミ

- ・ 表紙・・・釜阪
- ・ 環境と人に優しい農作物作り・・・生物班
- ・ Q&A～農家の人に質問しました！・・・生物班
- ・ 本紹介・・・泉本、井上、釜阪
- ・ 私たちの研究テーマ・・・泉本、井上、釜阪
- ・ 電力自由化と地球温暖化・・・井上
- ・ 夏の風物詩ヒメボタル・・・生物班

～編集後記～

- ・ 様々な本を読んだことで環境への知識が深まりました。これからはもっと踏み込んで学び、実際に調査に行きたいと思います。（泉本）
- ・ 生産者の立場に立って米作りの大変さと、食の大切さを考え直す貴重な体験ができました。（福本）
- ・ 電力自由化に伴い電力会社を移行することには様々なメリット、デメリットがありますが、環境を意識したプランの認知度がさらに上がるようにしたいと思いました。（井上）
- ・ 少しでも関心を持って読んで頂きたい、文面・デザインを工夫しました。皆さんの低炭素なライフスタイルに貢献できれば幸いです。（釜阪）